

電磁的記録媒体(USBメモリ等)の利用に関する アンケート（案）



総務省

令和7年10月1日

総務省自治行政局住民制度課

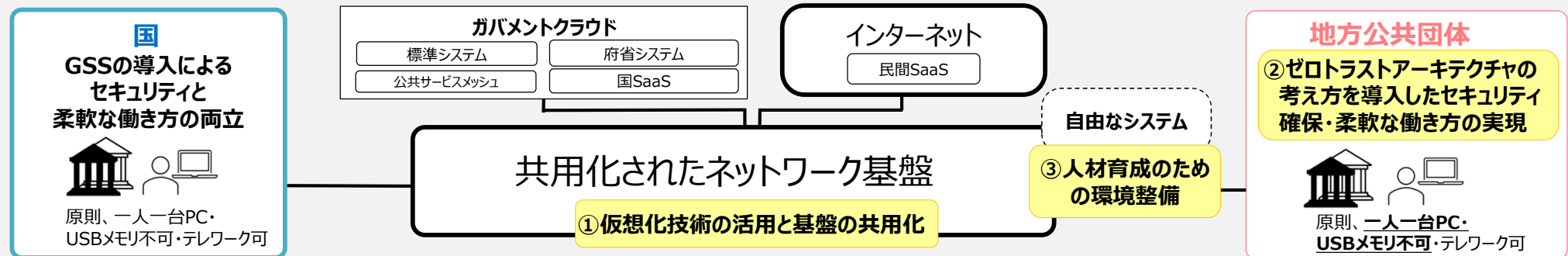
サイバーセキュリティ対策室

アンケート実施の背景

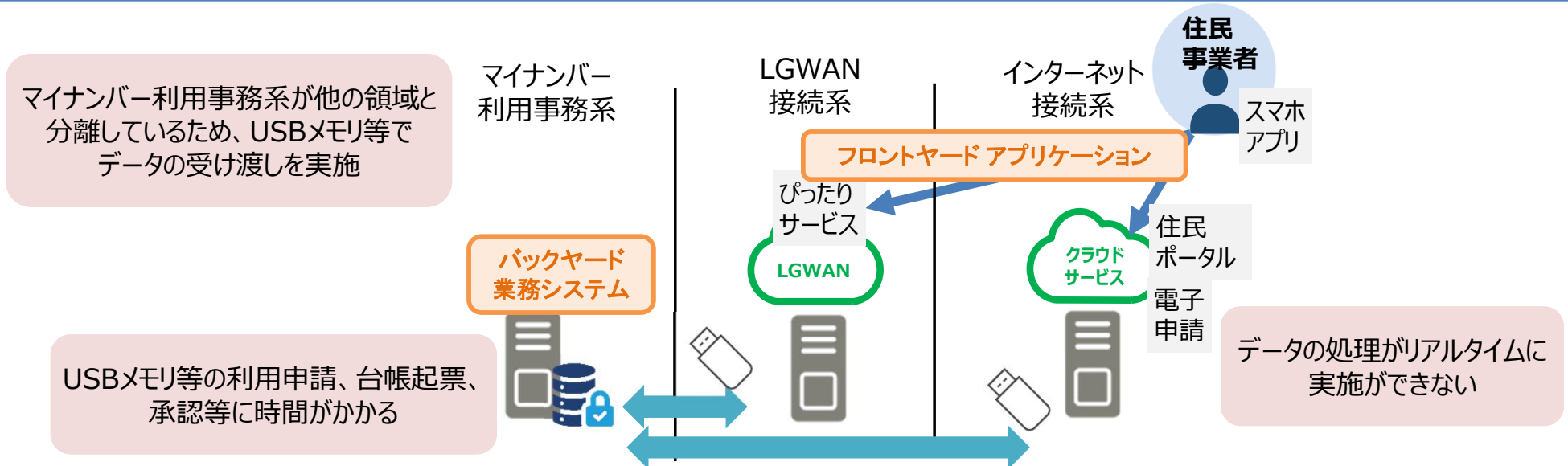
国・地方ネットワークの将来像の検討と合わせ、自治体のDXの推進に必要なデータ連携の在り方の検討が必要

- ①国・地方ネットワークの将来像及び実現シナリオに関する検討会報告書の内容を踏まえ
USBメモリ等を利用しないデータ連携の在り方については前倒しで検討を行う。

将来的には、ゼロトラストアーキテクチャの考え方の導入し、原則、一人一台PC・USBメモリ不可等が示されたところ。



- ②ヒアリングの結果、USBメモリ等の利用により、リアルタイムな業務処理が困難な状況が判明。
DX推進に必要なセキュリティ対策の検討を行う。



アンケートの目的・項目数

アンケートの目的

- 各団体のUSBメモリ等の利用実態を把握した上で、実態に応じた今後の対策の検討を行う。
- 特定の業務でUSBメモリ等が利用されているのか、幅広い業務で利用されているのか、利用状況に応じて対応方法が異なるので、網羅的な利用実態の調査が必要。
- USBメモリ等の利用によるデータの受け渡しによりD Xを阻害している状況の有無（住民サービスの低下、業務生産性の低下等）を把握し、必要な対策の検討が必要。
- D Xを阻害している場合は、シームレスなデータ連携等の在り方と必要なセキュリティ対策の検討を合わせて今後検討を行う必要があり、統計的なデータを必要。

アンケートの項目数

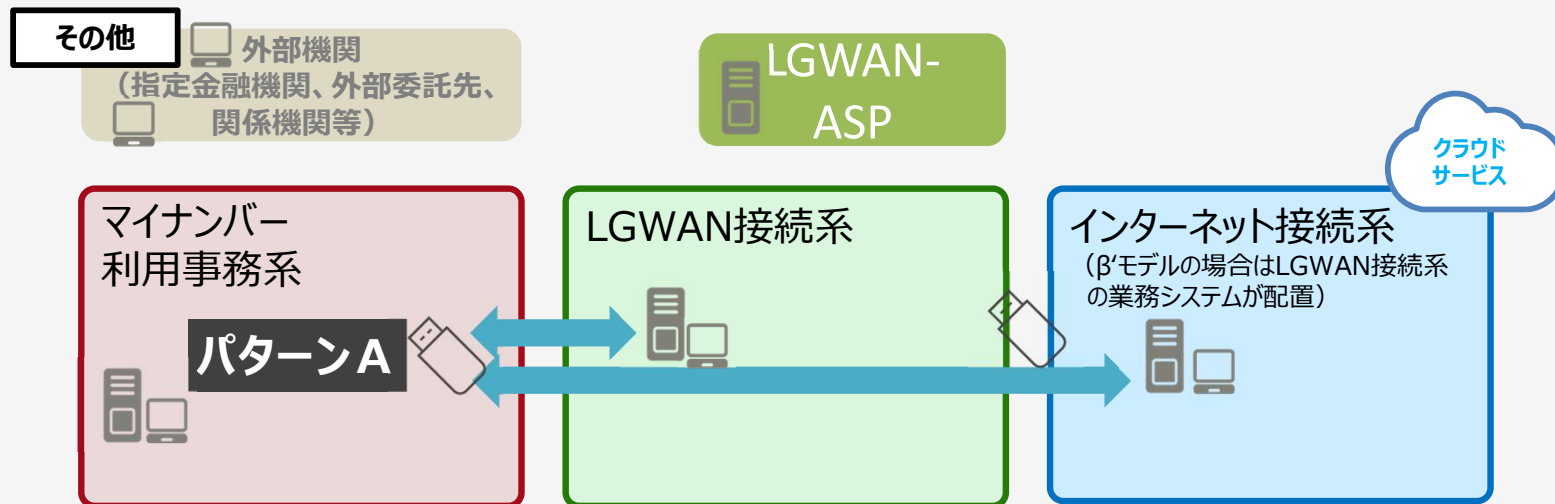
- 合計 24項目として地方自治体のアンケート回答における負荷を考慮。
（パターンA：8項目、パターンB：7項目、パターンC：6項目、その他：3項目）
- 選択式の回答が中心。
- USBメモリ等の連携パターンをイメージ化したり、業務システム間の具体例を例示。

アンケート（案）パターンA

<パターンA>

マイナンバー利用事務系とLGWAN接続系または、マイナンバー利用事務系とインターネット接続系においてUSBメモリ等を用いてデータの受け渡しを実施しているケース（LGWAN-ASPの業務システム等が関係する場合はパターンBとなる）

パターンAのイメージ



<例>

- ・ 住民情報（収滞納）システムと財務会計システム【収納消込情報等】
- ・ 住民情報（介護・福祉等）システムと財務会計システム【事業者振込情報等】
- ・ 住民情報（国保/後期・介護・福祉等）システムと財務会計システム【支出負担行為用の給付等の情報】
- ・ 住民情報（国保/後期・介護・福祉等）システムと電子決裁システム【起案用の給付等の情報】
- ・ 住民情報（全般）システムとパブリッククラウド上のサービス【スマホアプリによる住民向けの各種照会・通知アプリ等】
- ・ 住民情報各システムと人事システム【人事異動情報】
- ・ マイナンバー利用事務系のディレクトリサーバとLGWAN接続系のディレクトリサーバ【職員ID・ポリシー情報等の同期】

パターンAにおけるアンケート項目（計8項目）

1. 現在の業務においてU S Bメモリ等の電磁的記憶媒体を利用して、マイナンバー利用事務系とLGWAN接続系（β'モデルの場合は、インターネット接続系）間のデータの受け渡しを実施しているケースはありますか。選択式（Yes/No）
2. （1にてYesを選択した場合） 特にデータの受け渡しの頻度が多い業務システム間の連携パターンをイメージ図（パターンA）に記載した業務システム間の連携例から選択下さい。（選択式）

3. （1にてYesを選択した場合） 2にて記載した業務におけるデータの受け渡しの頻度を選択下さい。
 - a. 都度
 - b. 日次
 - c. 週次
 - d. 月次
 - e. 年次
 - f. その他（自由記述）
4. （1にてYesを選択した場合） 2にて選択した業務間の連携における1回のUSBメモリ等の利用の申請・承認から実際にデータ受け渡し作業が完了するまでの総時間はどの程度ですか、以下より選択下さい。
 - a. 30分未満
 - b. 30分以上60分未満
 - c. 1時間以上半日
 - d. 半日以上
5. （1にてYesを選択した場合） 2にて選択した業務間の連携においてUSBメモリ等の利用による業務影響について以下より選択下さい。（複数選択可）
 - a. 作業工数の増加による業務生産性の低下
 - b. リアルタイムに情報が処理されないことによるサービスの低下
 - c. USBメモリ等の紛失による情報漏洩等のセキュリティリスクの増加
 - d. 特に業務影響はない
 - e. その他（自由記述）

パターンAにおけるアンケート項目（計8項目）

6. (1にてYesを選択した場合) 2にて選択した業務システムにおける現状のシステム形態を以下より選択下さい。
(業務システムの配置パターンを選択) (地場DC等を活用したハウジング形式はオンプレを選択)

【回答例】

住民情報（全般）システムとパブリッククラウド上のサービス【スマホアプリによる住民向けの各種照会・通知アプリの場合

回答C オンプレ（M）：クラウド（LG・I）

【凡例】マイナンバー利用事務系（M）、LGWAN接続系（LG）、インターネット接続系（I）

- a. オンプレ（M）：オンプレ（LG・I）
- b. クラウド（M）：オンプレ（LG・I）
- c. オンプレ（M）：クラウド（LG・I）
- d. クラウド（M）：クラウド（LG・I）
- e. 未定

改善策を検討しリスクアセスメントを
行う際に利用形態の把握が必要

7. (1にてYesを選択した場合) 2にて選択した業務システムにおける2026年度以降～将来的に想定されるシステム形態を以下より選択下さい。(地場DC等を活用したハウジング形式はオンプレを選択) (業務システムの配置パターンを選択)

【回答例】

住民情報（全般）システムとパブリッククラウド上のサービス【スマホアプリによる住民向けの各種照会・通知アプリの場合

回答d クラウド（M）：クラウド（LG・I）

【凡例】マイナンバー利用事務系（M）、LGWAN接続系（LG）、インターネット接続系（I）

- a. オンプレ（M）：オンプレ（LG・I）
- b. クラウド（M）：オンプレ（LG・I）
- c. オンプレ（M）：クラウド（LG・I）
- d. クラウド（M）：クラウド（LG・I）
- e. 未定

将来的な動向（クラウド利用）
想定し、改善策を検討

8. (1にてNoを選択した場合) 以下について該当するものを選択下さい。

- a. どの業務においてもデータの受け渡しを行う必要がない
- b. データの受け渡しの必要性はあるが、手入力等で間に合っている
- c. 業務システム間においてサーバ間で直接データ連携する仕組みを既に構築している
- d. 業務システム間においてファイル交換システム等でファイルを連携する仕組みを既に構築している
- e. その他（自由記述）

USBメモリの利用が多いという想定
だが、利用していないケースがどの
程度あるか確認

アンケート（案） パターンB

<パターンB>

マイナンバー利用事務系とLGWAN接続系USBメモリ等を用いてデータの受け渡しを実施しているケースの中で、LGWAN-ASPの業務システムのデータをマイナンバー利用事務系の業務システムとデータ連携をしているケース

パターンBのイメージ

<LGWAN-ASPの例>

- ・ 電子申請システム（住民手続きや事業者等の請求業務等）
- ・ 公金アウトソーシング関係業務
- ・ 預貯金照会システム
- ・ マイナンバーカード交付予約システム
- ・ 生活保護関係統計システム
- ・ 介護認定システム
- ・ 国保連・介護連等のシステム連携業務



パターンBにおけるアンケート項目（計7項目）

1. LGWAN-ASPの業務システムとマイナンバー利用事務系の業務システムとデータ連携が必要な場合に、LGWAN接続系端末とマイナンバー利用事務系の業務システム間でU S Bメモリ等の電磁的記憶媒体を利用してデータの受け渡しを実施しているケースはありますか。選択式（Yes/No）
2. (1にてYesを選択した場合) 該当する業務システムの連携パターンを以下より選択下さい。（複数選択）
 - a. eLTAX又はぴったりサービスとマイナンバー利用事務系の業務システム間
 - b. 上記以外

aは措置済み

bが多いのか
確認
3. (2にてbを選択した場合)マイナンバー利用事務系とU S B等でデータの受け渡しをしているLGWAN-ASPのサービスにおいて特にデータの受け渡しの頻度が多い業務間の連携をイメージ（パターンB）の例から選択下さい。（選択式）
 - a. 電子申請システム（住民手続きや事業者等の請求業務等）
 - b. 公金アウトソーシング関係業務
 - c. 預貯金照会システム
 - d. マイナンバーカード交付予約システム
 - e. 生活保護関係統計システム
 - f. 介護認定システム
 - g. 国保連・介護連等のシステム連携業務
 - h. その他（自由記述）
4. (2にてbを選択した場合) 2にて選択した業務におけるデータの受け渡しの頻度を選択下さい。
 - a. 都度
 - b. 日次
 - c. 週次
 - d. 月次
 - e. 年次
 - f. その他（自由記述）

頻度を
定量的に把握

パターンBにおけるアンケート項目（計7項目）

5. (2にてbを選択した場合) 3にて選択した業務間の連携における1回のUSB等の利用の申請からデータ受け渡し作業に係る総時間はどの程度ですか、以下より選択下さい。

- a. 30分未満
- b. 30分以上60分未満
- c. 1時間以上半日
- d. 半日以上

業務負荷を
定量的に把握

6. (2にてbを選択した場合) 3にて選択した業務間の連携においてUSBメモリ等の利用による業務影響について以下より選択下さい。

- a. 作業工数の増加による業務生産性の低下
- b. リアルタイムに情報が処理されないことによるサービスの低下
- c. USBメモリ等の紛失による情報漏洩等のセキュリティリスクの増加
- d. 特に業務影響はない
- e. その他（自由記述）

USBメモリ等利用
による影響を確認

7. (1にてNoを選択した場合) 以下について該当するものを選択下さい。（複数選択可）

- a. どの業務においてもデータの受け渡しを行う必要が無い
- b. データの受け渡しの必要性はあるが、手入力等で間に合っている
- c. 業務システム間においてサーバ間で直接データ連携する仕組みを構築している
- d. 業務システム間においてファイル交換システム等でファイルを連携する仕組みを構築している
- e. その他（自由記述）

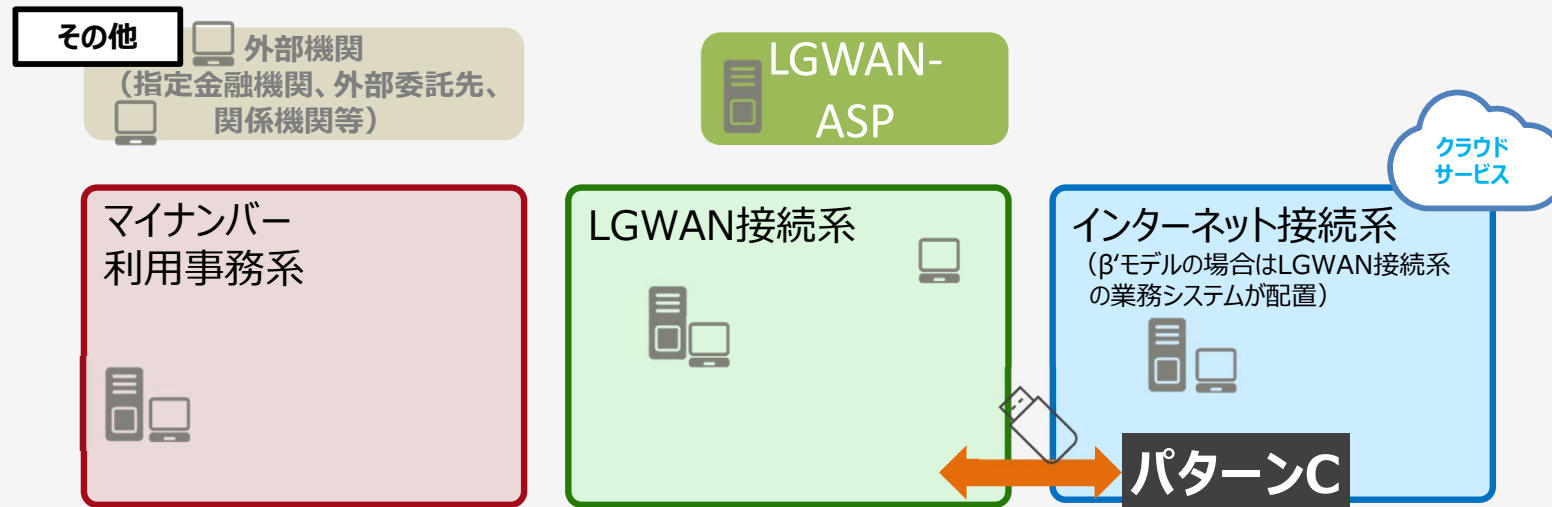
USBメモリの利用が多いという想定
だが、利用していないケースがどの
程度あるか確認

実態調査アンケート（案） パターンC

<パターンC>

LGWAN接続系とインターネット接続系でUSBメモリ等を用いてデータの受け渡しを実施しているケース

パターンCのイメージ



<例>

- ・ ファイルサーバ間のファイル移動
- ・ インターネット接続系端末におけるメールの利用（添付ファイルの移動）
- ・ インターネット接続系環境のプリンタ等の利用のためのファイル移動
- ・ グループウェア（LGWAN接続系/インターネット接続系）へのファイル移動
- ・ 無害化処理がエラーの場合又は無害化処理の仕組が未実装によるファイル移動
- ・ 人事システム（LGWAN接続系にある場合）とインターネット接続系のシステム【人事異動情報】
- ・ LGWAN接続系のディレクトリサーバとインターネット接続系のディレクトリサーバ【職員ID・ポリシー情報等の同期】

パターンCにおけるアンケート項目（計6項目）

1. LGWAN接続系とインターネット接続系間でデータ連携が必要な場合に、U S Bメモリ等の電磁的記憶媒体を利用してデータの受け渡しを実施しているケースはありますか。（選択式Yes/No）
2. (1にてYesを選択した場合) LGWAN接続系とインターネット接続系でUSBメモリ等を用いてデータの受け渡しを実施しているケースにおいて特にデータの受け渡しの頻度が多い連携例をイメージ図（パターンC）の例から選択下さい。（選択式）
3. (1にてYesを選択した場合) 2にて記載した業務におけるデータの受け渡しの頻度を選択下さい。
 - a. 都度
 - b. 日次
 - c. 週次
 - d. 月次
 - e. 年次
 - f. その他（自由記述）
4. (1にてYesを選択した場合) 2にて選択した業務間の連携における1回のUSB等の利用の申請からデータ受け渡し作業に係る総時間はどの程度ですか、以下より選択下さい。
 - a. 30分未満
 - b. 30分以上60分未満
 - c. 1時間以上半日
 - d. 半日以上
5. (1にてYesを選択した場合) 2にて選択した業務間の連携においてUSBメモリ等の利用による業務影響について以下より選択下さい。（複数選択可）
 - a. 作業工数の増加による業務生産性の低下
 - b. リアルタイムに情報が処理されないことによるサービスの低下
 - c. USBメモリ等の紛失による情報漏洩等のセキュリティリスクの増加
 - d. 特に業務影響はない
 - e. その他（自由記述）

パターンCにおけるアンケート項目（計6項目）

6. (1にてNoを選択した場合) 以下について該当するものを選択下さい。
- a. どの業務においてもデータの受け渡しを行う必要が無い
 - b. データの受け渡しの必要性はあるが、手入力等で間に合っている
 - c. 業務システム間においてサーバ間で直接データ連携する仕組みを構築している
 - d. 業務システム間においてファイル交換システム等でファイルを連携する仕組みを構築している
 - e. その他（自由記述）

<その他>

マイナンバー利用事務系と外部ネットワーク接続用の端末や委託先事業者とデータを受け渡しを実施しているケース

その他のイメージ

<例>

- ・ 国保連・後期高齢連等の専用端末
- ・ 指定金融機関とのデータ送受端末
- ・ 外部委託先事業者等



その他におけるアンケート項目（計 3 項目）

1. マイナンバー利用事務系と外部機関や外部ネットワーク間でデータ連携が必要な場合に、U S Bメモリ等の電磁的記憶媒体を利用してデータの受け渡しを実施しているケースはありますか。選択式（Yes/No）
2. （1 にてYesを選択した場合）具体的な利用ケースをイメージ図に記載した連携例から選択下さい。（選択式）
3. （1 にてYesを選択した場合）USBメモリ等を利用が必要な理由を記載下さい。（自由記述）